

Agenda

- 学校紹介 (~14:30)
- パネルディスカッション (~15:15)
- 個別 Q&A (~16:30)

MIT Sloanに関する、よくある誤解

- ✓ MIT Sloanには、技術系のバックグラウンドを持った人しかいないんですよね？
- ✓ MIT Sloanは、Technology Startupに特化したBusiness Schoolなんですよね？
- ✓ MIT Sloanには、社費派遣のアプリカントしか受からないんですよね？

これらは全て間違いです

はじめに ～学校紹介でお伝えしたいこと～

カリキュラムおよび課題活動

- 理論と実践
- 充実した教授陣
- 授業選択の柔軟性
- チームワーク

ボストンでの生活

- 豊かな生活環境
- 美しい街並み

日本人学生情報

- バックグラウンド
- 卒業後のキャリア

学校紹介

- カリキュラム
- 課外活動
- ボストンでの生活
- 日本人スローン生
- アドミッション関連事項

1.1 カリキュラム (ミッション)

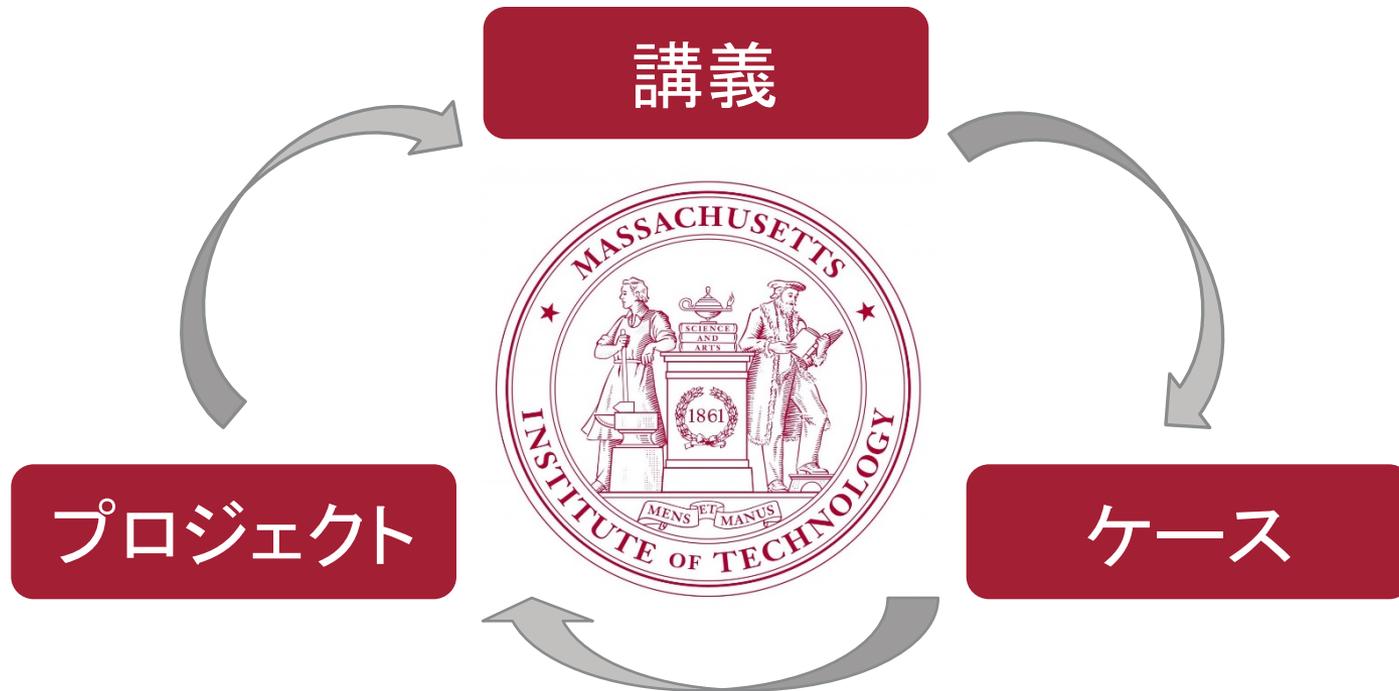
MIT Sloan のミッション (@E62 building)



The mission of the MIT Sloan School of Management is to develop principled, innovative leaders who improve the world and to generate ideas that advance management practice.

1.2 カリキュラム (理論と実践①)

MIT's motto – 'Mens et Manus' (Mind and Hand)



理論を「**学び**」、実践を通して「**身につける**」

1.2 カリキュラム (理論と実践②)

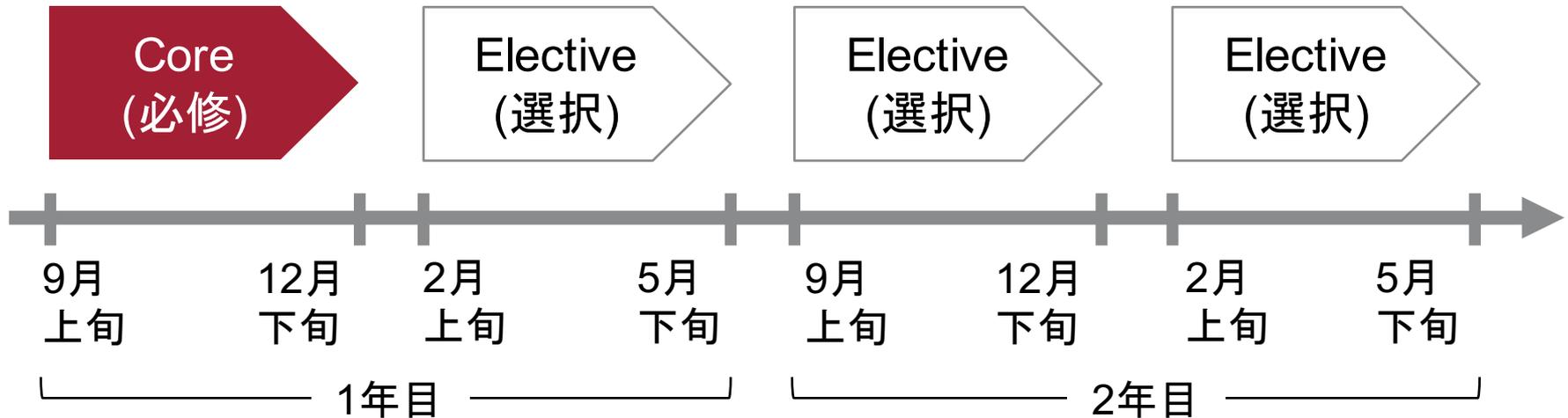
様々な分野、地域における豊富な Action learning の機会

	アメリカ国内	グローバル (新興国)
Startup	<ul style="list-style-type: none"> • Entrepreneurship Lab (E-Lab) • Innovation teams • New enterprises 	<ul style="list-style-type: none"> • Global Entrepreneurship Lab (G-Lab) • China Lab/ India Lab
Sustainability	<ul style="list-style-type: none"> • Sustainable Business Lab (S-Lab) 	<ul style="list-style-type: none"> • Leading Sustainable Systems Lab (L-Lab)
Big Data	<ul style="list-style-type: none"> • Analytics Lab (A-Lab) 	

プロジェクトを通して
 実践的なマネジメントスキルを身につける

1.3 カリキュラム (柔軟性①)

必修科目は最初の一学期(半年間)のみで、自らの関心が高い分野の深掘りが可能



興味・関心に応じて柔軟なスケジューリングが可能

1.3 カリキュラム (柔軟性②)

Core (必修科目) の概要

✓ 学びの形式

- 1学年(400人)を6クラス(各65人程度)に分け、クラスごとに授業を受ける
- コアチーム(6-7人が一学期間固定)での課題・プロジェクト

✓ 主な内容

- マネジメントに必要なハードスキル・ソフトスキルの基礎を習得

ハードスキル

- 統計・データ分析、ミクロ経済学、会計
- ファイナンス/ マーケティング/ ストラテジー/ オペレーションから一つ選択

ソフトスキル

- コミュニケーション
- 組織設計・マネジメント

同級生とのつながりを深め、
マネジメントの基礎を身につける

1.3 カリキュラム (柔軟性③)

Elective (選択科目) の内容

✓ Sloan 内の選択肢

- アントレプレナーシップ
- リーダーシップ
- ファイナンス
- マーケティング
- ...

120以上の科目から
選択可能

✓ Sloan 外の選択肢

- MIT他学部の授業に加え、Harvard Business School、Harvard Kennedy School、Tufts University 等、ボストン近郊の大学の授業を受講可能

充実した選択肢の中から **学びを「広げ」「深める」**

1.3 カリキュラム (柔軟性④)

特定分野に集中することで、Certificate を取得可能

Entrepreneurship and Innovation (E&I) Track

Enterprise Management Track

Finance Track

Sustainability Certificate

Healthcare Certificate

ネットワーキング、クライアント企業とのプロジェクトを通じて、**特定分野**を実践的に学ぶ

1.4 充実した一流の教授陣

Prof. Robert Merton



Finance

- ブラック・ショールズ方程式開発者の一人
- ノーベル経済学賞(1997)

Prof. Bill Aulet



Entrepreneurship

- “Disciplined Entrepreneurship”の著者
- Entrepreneur教育を統括

Prof. Peter Senge



Organization

- ラーニング・オーガニゼーションの提唱者
- “最強組織の法則”の著者

Prof. Erik Brynjolfsson



Digital Business

- ITの発展が経済の生産性や雇用に与える影響を研究
- “機械との競争”の著者

Prof. John Sterman



System Dynamics

- Sustainability Lab 主催
- 躍動的なクラスを展開して学生から絶大な人気を誇る

Prof. Michael Cusumano



Strategy

- ソフトウェア企業のプラットフォーム戦略の研究で著名
- ハイテク企業取締役を歴任

1.5 カリキュラム (外部の評価)

主要な学問分野における外部の評価^[1]

- Total 5位
- Production / Operations 1位
- Information System 1位
- Supply Chain / Logistics 1位
- Entrepreneurship 3位
- Finance 6位

Source: US News & World Report Best Business Schools 2017

様々な分野において高い評価を受け、
専門的な学びの機会が充実

1.5 カリキュラム (チームワーク)

風土

- チームワークを重視し、相手を尊重
- チームオリエンテッドなリーダーシップスタイル
- 中規模学校 (1学年400人程度)の親密さ

機会

- チーム単位での課題・プロジェクト
- 豊富なディスカッションとフィードバックの機会

チームメートとの共同作業を通して
各々のリーダーシップを確立

学校紹介

- カリキュラム
- 課外活動
- ボストンでの生活
- 日本人スローン生
- アドミッション関連事項

2.1 課外活動 (概要)

- ✓ 豊富な課外活動の機会
 - 起業・ビジネスプランコンテストへの出場
 - クラブ活動、各種カンファレンス運営
 - 生徒主催の学内イベント (C-Function、各種Trek等)
- ✓ 活動をサポート・促進するリソース
 - Martin Trust Center for MIT Entrepreneurship
 - MIT他学部、ボストン近郊の他大学・団体

二年間で自分が深めたいこと成し遂げたいことに
チャレンジできる環境・リソースへアクセス可能

2.2 課外活動 (起業)

- ✓ 起業に直結する授業やビジネスコンテスト
 - 授業: E&I Track、New Enterprises、I-teams等
 - コンテスト: \$100K、Clean Energy Prize等
 - その他の機会: GFSA、MIT他学部のビジネスシーズ等
- ✓ MITを中心として確立したアントレのエコシステム
 - 起業家、VC・エンジェル、アドバイザーの正のスパイラル
 - MIT卒業生の起業実績 (2006年調べ)
 - 企業数: 25,600社以上 (調査時現存企業数)
 - 合計年間売上: 約20兆ドル



起業精神を高め、実践する機会が充実

2.3 課外活動 (Sloan外の資源)

- ✓ MIT他学部・組織と連携する機会が豊富
 - Legatum Centerでの活動
 - 途上国での起業をサポートしてもらえる
 - Media Labとの連携
 - Media LabとSloanの関連クラブとのコラボレーション
 - Engineering schoolとの連携
 - MIT内のイベントをきっかけにEngineer と交流・起業する学生も
 - MIT Sandboxからの支援
 - 新しいアイデアに対して、最大で\$25,000の支援を受けられる

- ✓ ボストン近郊の豊富なリソースと連携する機会が豊富
 - 他校の学生との交流 (Harvard、Tufts、等)
 - Vogel塾 (在ボストン日本人学生、研究者、駐在員の勉強会)

2.4 課外活動 (クラブ活動)

- ✓ 約70の学生主体のクラブ・団体
 - 勉強会: Data Analytics Club、Coders club、Design Club
 - ネットワーキング: Entrepreneurship and Innovation Club
 - イベント主催: Asia Business Club、Sports club
 - 就職活動: Management Consulting Club、Finance Club
 - レクリエーション: Golf club、Microbrewery Club
 - 文化紹介: Japan Club、Brazilian club

クラブ活動を通じたネットワーキングや
リーダーシップ能力強化の機会

2.5 課外活動 (Japan Club)

Japan C-Function (文化紹介イベント)



Japan Trek (日本旅行)



学校紹介

- カリキュラム
- 課外活動
- ボストンでの生活
- 日本人スローン生
- アドミッション関連事項

3.1 ボストンでの生活 (生活環境)

- ✓ 治安良好、家族へのサポート充実
 - 子供向けの医療・教育環境が充実
 - 配偶者の語学・趣味のスクールが充実
- ✓ 生活インフラが充実
 - 地下鉄、バス等でのアクセスが便利
- ✓ 日本人コミュニティが充実
 - ボストンエリアに多数の留学生・研究者



一人暮らし・家族連れともに安心して
快適な生活を送ることが可能な環境

3.2 ボストンでの生活 (エンターテイメント)

アメリカ 4大スポーツ強豪チームが勢揃い



3.3 ボストンでの生活 (文化・芸術)



文化・芸術が生活に彩り

3.4 ボストンでの生活 (街並み)



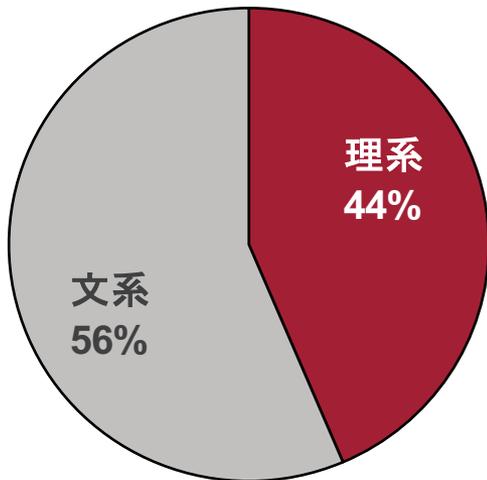
美しく歴史ある街並み

学校紹介

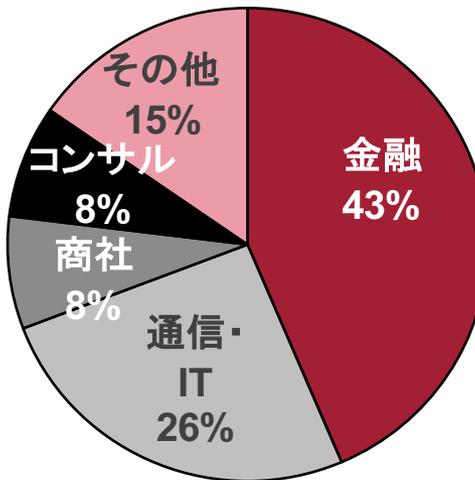
- カリキュラム
- 課外活動
- ボストンでの生活
- 日本人スローン生
- アドミッション関連事項

4.1 日本人スローン生 (近年の状況)

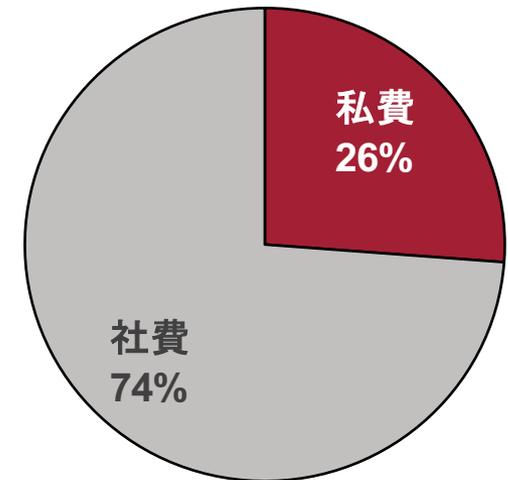
出身学部 (C14-18)



出身業界 (C14-18)



私費・社費 (C14-18)



* 日本勤務直後に留学した非日本人学生を含む

4.2 日本人スローン生 (キャリアチェンジの例)

Sloan前			Sloan後	
戦略コンサル	→	MIT Sloan	→	起業 (US)
商社	→		→	戦略コンサル
投資銀行	→		→	プライベートエクイティ
銀行	→		→	戦略コンサル
メーカー	→		→	NPO
IT Startup (日本)	→		→	IT Startup (US)
銀行(日本)	→		→	銀行(US)
通信(研究開発)	→		→	通信(新規事業)

4.2 日本人スローン生 (著名な卒業生の例)

金融	コンサルティング	事業会社・研究機関
安達 保 カーライルジャパン 共同代表	梅沢 高明 A.T. カーニー 日本法人 会長	加藤 壹康 キリンホールディングス 初代社長
井澤 吉幸 ブラックロック・ジャパン 代表取締役 会長	奥野 慎太郎 ベイン・アンド・カンパニー 日本代表	立川 敬二 元NTTドコモ社長、元JAXA 理事長
畔柳 信雄 三菱東京UFJ銀行 初代頭取	岡村 暁生 ローランド・ベルガー 日本 共同代表	和才 博美 NTTコミュニケーションズ 相談 役 (元社長)
堀 新太郎 ベインキャピタル・ジャパン 最高顧問	横山 禎徳 東京大学EMP企画推進責任者 (元マッキンゼー東京支社長)	長岡 貞男 元一橋大学イノベーション研究 センター長

学校紹介

- カリキュラム
- 課外活動
- ボストンでの生活
- 日本人スローン生
- アドミッション関連事項

アドミッション日程

- ✓ 各Round締め切り
 - MBA Round 1 : 2016年9月中旬 締め切り
 - MBA Round 2 : 2017年1月上旬 締め切り
 - MBA Round 3 : 2017年4月上旬 締め切り

- ✓ Admission Office による公式説明会
 - 2016年7月8日(金) 19:00-21:00に東京駅近くにて開催
 - MIT Sloan日本人在校生ウェブサイトから、お申し込みください

- ✓ 定期的にWebinarを開催し、Q&Aの機会を作る予定です

関連するプログラム

プログラム名	内容
LGO (Leaders for Global Operations)	Engineeringのバックグラウンドを持つ人が、MBAとEngineeringのDual Degreeを2年間で取得するプログラム
SDM (System Design and Management)	System Designの考え方をベースに、EngineeringとManagementの双方を学ぶプログラム
IDM (Integrated Design & Management)	Design / Business / Engineeringの3つのキャリアの学生が在籍し、DesignとManagementを学ぶプログラム
Sloan Fellows	Business経験が10年以上の人を対象とした、1年制プログラム
Harvard Kennedy SchoolとのJoint Degree	3年間で、MBAとMaster in Public Policyの両方を取得するプログラム (MIT Sloan入学後のApplyも可能)

学校紹介 Summary



- Mind and Handの精神に則った理論と実践の両面を重視したカリキュラム
- フレキシブルな授業履修、および、MITのリソースを活かし、自身の興味・関心を突き詰められる機会
- 安全で歴史あるボストンの環境